

会議の名称	第5回 茨木市市民会館跡地エリア整備事業者候補者選定委員会 公開プレゼンテーション
開催日時	令和2年1月18日(土) (午前・午後) 10時00分 開会 (午前・午後) 2時30分 閉会
開催場所	ローズ WAM ワムホール
出席者	[委員] 久隆浩、建山和由、本杉省三、井元真澄、落合佳人、河井豊、秋元隆二 【7人】
欠席者	なし 【0人】
事務局職員	向田市民会館跡地活用推進課長、 末松市民会館跡地活用推進課課長代理兼活用整備係長、 山根市民会館跡地活用推進課副主幹、 澤田市民会館跡地活用推進課主査、 的場市民会館跡地活用推進課職員
開催形態	公開
議題 (案件)	1 開会 2 1者目46番プレゼンテーション 3 休憩 4 2者目95番プレゼンテーション 5 休憩 6 3者目23番プレゼンテーション 7 プレゼンテーション終了
配布資料	傍聴要領
傍聴人	175人

会 議 録

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
的場職員	<p>1 開会</p> <p>ただ今より、茨木市市民会館跡地エリア整備事業者候補者選定委員会公開プレゼンテーションを開催させていただきます。</p> <p>通常であれば、委員会規則第6条第1項の規定により、委員長により議事を進めるところであるが、本日は公開プレゼンテーションであるため、事務局において進行させていただきます。</p> <p>開会に先立ち、本日の選定委員会の主旨について、茨木市市民会館跡地活用推進課長の向田から説明させていただきます。</p>
向田課長	<p style="text-align: center;">【選定委員会の主旨について説明】</p>
的場職員	<p>続いて、選定委員会の開会にあたり、事務局から報告と注意点についてご説明申し上げます。</p> <p>まず、本選定委員会は7名の委員で構成されている。本来なら、委員各位のお名前をご紹介しますところであるが、この後の審査への影響等をできる限り排除する目的から、本日は行わないこととしている点、ご了承くださいようお願い申し上げます。</p> <p>本日の委員の出席状況は、7名中7名全員にご出席いただいているため、委員会規則第6条第2項の規定により、会議は有効に成立している。</p> <p>また、会議は原則非公開としているが、第1回の選定委員会において、プレゼンテーションについてのみ公開で行うことを決めているため、本日のプレゼンテーションについては、一般に公開して実施する。</p> <p>ただし、プレゼンテーションの内容には、企業ノウハウに関する内容や、著作権が発生する画像も含まれているため、資料等の配布を行わないだけでなく、撮影や録音、またその公開等を禁止している点、ご了承ください。</p> <p>次に、傍聴いただくにあたり、入り口でお渡しした傍聴要領の内容を遵守いただくようお願い申し上げます。</p> <p>それでは本日の流れについて説明申し上げます。</p> <p>各者、30分間の説明と、30分間の質疑の計60分を持ち時間としている。</p> <p>1者目はこの後、10時10分からプレゼンを開始し、2者目は休憩を挟んだのち11時30分から、3者目が13時30分からというスケジュールで実施する。</p> <p>事前に引いていただいたくじにより、本日は、参加者番号46番、95番、</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	発 言 内 容
	<p>23 番の順にプレゼンテーションを進める予定としている。 最後に、会場からの出入りについては、できるだけ休憩時間に行っていただくようお願い申し上げます。</p>
的場職員	<p>2 1 者目 46 番プレゼンテーション それでは、審査に移りたいと思う。 1 者目、番号 46 番の提案準備をお願い申し上げます。 準備が整い次第、開始していただきたい。</p>
参加者番号 46 番 的場職員	<p>【プレゼンテーション】 続いて質疑に移らせていただく。 質疑の進行については、本選定委員会の委員長をお願い申し上げます。</p>
久委員長	<p>では、進行させていただきます。 各委員から、説明いただいた提案に対して、ご質問等があればお願い申し上げます。</p>
本杉委員	<p>入口の動線について、車寄せ側の入口の広さは十分か、開放利用している場合に狭くなることはないかを教えていただきたい。 また、2 階からのつづら折り階段によるアクセスは、多様な利用者に対してどのように考えているか教えていただきたい。</p>
参加者番号 46 番	<p>まず、入口については、2 階にもデッキへ通じる入口を設けるため、1 階でイベント利用しているときでも、代替の出入口になると考えている。 つづら折り階段については、2 階レベルまではスロープで車椅子利用者もアクセス可能となっている。3 階からの階段の上りやすさについては、工夫できると思う。</p>
建山副委員長	<p>図書館と他の機能との複合、連携を提案されているが、将来的な、さらなる発展性について、考えがあればお聞かせいただきたい。 また、外観、特に西側の閉塞感についてのお考えを教えていただきたい。</p>
参加者番号 46 番	<p>出会い・交流の入口として図書館を位置付けたいと考えている。図書館が多様な機能全体をつなぐ「ボンド」のような役割のイメージで、書架の配置はフレキシブルであるため、将来のニーズに応じてアレンジしながら</p>

議 事 の 経 過

発言者	発言内容
	<p>ら使っていくことができると考えている。</p> <p>また、西側は開口等のデザインの工夫により、できるだけ閉塞感をなくすようにしている。パッチワークのような壁面カーテンウォールのイメージで、北側の角をセットバックするなど、長大感をなくす工夫を行っている。</p>
落合委員	<p>1階搬入口のトラックの入り方について教えていただきたい。</p> <p>また、図書館のBDSが各所にあるが、1階を開放利用した場合の対応はどのようなになるか教えていただきたい。</p>
参加者番号 46番	<p>まず搬入口について、水路をボックスカルバートにして暗渠化することで、敷地内として転回スペースを確保できると考えている。</p> <p>図書館のBDSは、今後の運用面での協議により、できるだけ設置個所を少なくしたいと思っている。</p>
井元委員	<p>円を切り取ったような外観開口部デザインの意図について、教えていただきたい。</p> <p>また、1階子育て施設へのアクセスはどのようなになるか、教えていただきたい。</p>
参加者番号 46番	<p>開口部はルーバーで覆うデザインとしており、外壁も質感を工夫していきたいと考えている。半円状の形は、この地の歴史や蓄積されたものを、微笑ましさとしてイメージしたものである。</p> <p>1階子育て施設への動線は、主に駐輪場からのアクセスとなるが、表から館内を通っていくことも可能である。</p>
秋元委員	<p>4点質問させていただく。</p> <p>まず、コスト削減方策とワークショップの内容について教えていただきたい。</p> <p>デッキを分散配置している点について、お考えをお聞かせいただきたい。</p> <p>また、将来的なランドスケープのあり方や方向性について、どのように考えているのかお聞かせいただきたい。</p>
参加者番号 46番	<p>コスト削減方策について、施工企業でコストを綿密に精査しているので、手応えは感じている。抑揚をつけた材料や施工方法の工夫を検討していきたいと考えている。</p>

議 事 の 経 過

発言者	発言内容
	<p>ワークショップは、これまで25年間、相当数手掛けてきた。これからの担い手を育てていくことが大事だと考えており、中高生が将来出演者にもなる可能性があることから、若い人たちと一緒にワークショップを行いたいと考えている。</p> <p>デッキの分散配置について、大きな施設であるため、入口を集約するよりも各方面からアプローチできることが重要だと考えた。デッキによりそれが可能となり、また、デッキの軒下は日陰にもなるため、有効活用できると考えている。</p> <p>ランドスケープについては、専門家と一緒に設計していきたいが、一朝一夕では難しいテーマだと認識している。時間をかけて、市民と一緒に風景をつくり上げていく考えであるが、元茨木川の緑も活かし、緑に包まれた環境を目指していきたい。</p>
久委員長	<p>市民活動センターについて、利用者目線、管理者目線からのアクティビティをどのように捉えているか、教えていただきたい。</p>
参加者番号 46番	<p>先ほど説明したように、図書館をボンドとして、共用部をライブラリーやギャラリー空間としたい考えである。絶えずそこに人の目があり、利用状況に目配りができている環境をつくることで、市民活動自体をアピールし、出会いの場としていきたいと考えている。</p>
本杉委員	<p>大ホールのインテリアについて、白いドットはどのようなものか。また、翼のようなインテリアの意味合いを教えていただきたい。</p>
参加者番号 46番	<p>白いドットは、塗り壁で少し突起があるものだが、向きを少しずつ変えて、乱反射の役割も期待している。表面はやわらかく、少し光沢のあるイメージである。また、翼のような部分は、音響反射の役割を持たせている。</p>
久委員長	<p>他に質問が無ければ、これで参加者番号46番のプレゼンテーションを終了する。</p> <p>引き続き、事務局で進行をお願い申し上げます。</p>
的場職員	<p>3 休憩</p> <p>ここから、20分間の休憩とさせていただきます。</p>
的場職員	<p>4 2者目95番プレゼンテーション</p> <p>それでは、再開する。</p>

議 事 の 経 過

発言者	発言内容
参加者番号 95 番 的場職員	<p>2 者目、番号 95 番の提案準備をお願い申し上げる。 準備が整い次第、開始していただきたい。</p> <p style="text-align: center;">【プレゼンテーション】</p> <p>続いて質疑に移らせていただく。 質疑の進行については、委員長をお願い申し上げる。</p>
久委員長	各委員から、説明いただいた提案に対してご質問等があれば、お願い申し上げます。
本杉委員	「無駄のない設計」とされているが、その意味を教えてください。 また、フライタワーを低く抑えた理由について、教えてください。 ホールに至る大階段があるが、エスカレーターを 1 基としている理由についても、教えてください。
参加者番号 95 番	<p>「無駄のない」とは、利用者の移動負担の少ない「コンパクト」という意味である。 また、フライタワーの高さについては、子育て施設のワンフロア化といったメリットを求めた結果として、抑えている。 エスカレーターは、ホール専用のもので、上り下りを切り替えて使用する想定をしている。</p>
建山副委員長	<p>3 階ホワイエの平常時の使い方について、教えてください。 また、基礎構造についてはどのように考えられているのかお聞きしたい。 先程のご質問にも挙がったが、高さを抑えた提案としたことのねらいについて、教えてください。</p>
参加者番号 95 番	<p>3 階ホワイエは、パークホワイエ的な空間として、平常時でも学生の居場所となるなど、ロビー利用ができればと考えている。 基礎は、杭基礎形式（20m）で計画している。 高さを抑制した提案のねらいとしては、高さを抑えることでコンパクトな施設とすることを意図している。</p>
落合委員	ホワイエ各階へのエレベーターによる上下移動はどのようになるのか、中 2 階からのアプローチも併せてご説明いただきたいと思う。

議 事 の 経 過

発言者	発言内容
参加者番号 95 番	<p>各フロアの有料、無料エリアに応じて、鍵管理によりエレベーター利用をコントロールする計画としている。</p> <p>中2階へは南側のデッキからスロープ、駐輪場入口部分を経てエレベーターへと至るアクセスとなる。</p>
井元委員	<p>「ひだまり広場」へのアプローチはどのようになるか、教えていただきたい。</p> <p>また、子育て相談室への動線と、窓の有無について、ご説明いただきたいと思う。</p>
参加者番号 95 番	<p>ひだまり広場は、要求水準に基づき、基本的には有料ゾーンで室内からの利用となるが、外部とは植栽などで緩やかに区切り、適宜クローズ、オープンに対応できるようにする。</p> <p>また、相談室については、相談内容に応じて、緑道に面する相談室も確保している。</p>
秋元委員	<p>多目的ホールは、1階配置の方が良いのではないかとと思うが、2階に提案していることのねらいについて教えていただきたい。</p> <p>また、「育てる広場」として、ワークショップについてどのように考えているのかお聞きしたい。</p> <p>将来的なランドスケープのあり方や方向性について、どのように考えるのかお聞かせいただきたい。</p>
参加者番号 95 番	<p>1階には、多目的ホールではないが、子育て交流室3室を配置している。それらは開放できるため、広いロビーと一体的に多様な使い方が可能となっている。独立した大屋根や、エントランスのピロティなど、使い方に応じて場所を選択できるよう計画している。</p> <p>ワークショップは、自ら使いこなして提供していくなど、3段階で担い手を育てていくものを考えている。</p> <p>また、50年後の姿として、周りの緑とつながり、大きな森となるイメージを考えており、大きく育つ樹木を植える計画としている。</p>
久委員長	<p>「環境づくりワークショップ」とあるが、既にある「IBALAB(イバラボ)」などと、どのようにつなげていく考えなのか教えていただきたい。</p> <p>また、大屋根を北側に配置した意図について、教えていただきたい。</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	発 言 内 容
参加者番号 95 番	<p>人的ネットワークを活かしながら、第2の活動場所となるように、「IBALAB」等と一緒に実施していきたいと考えている。</p> <p>大屋根については、北側の道路と分断はされるが、それを超えて敷地C、Dとの一体となったにぎわい創出をねらっている。視覚的な連続性を意識した屋根デザインとし、だれもが気軽に立ち寄れる空間づくりを意図している。</p>
本杉委員	<p>コンパクトな施設との説明だが、4階の多目的室への動線や、ホールのトイレの狭さなど、機能が詰まっている印象がある。その点について、考え方を教えていただきたい。</p>
参加者番号 95 番	<p>図書館と他の機能を混在させることによって、さまざまな居場所をつくるねらいがある。ホワイエの女子トイレはウォークスルー方式としているが、改善も含めて対応したいと思う。また、4階の多目的室は200人利用想定だが、行き止まり感のないプランを意図している。</p>
久委員長	<p>災害時の対応として、1階などはどのような使い方となるか、考えをお聞かせいただきたい。</p>
参加者番号 95 番	<p>備蓄倉庫を設けており、搬入ヤードと一体的な利用もできる。また、北東側の庁舎近くに配置することで、連携も重視している。</p>
久委員長	<p>中央図書館がある中で、この施設での図書館の位置づけや役割分担はどのように考えるか、教えていただきたい。</p>
参加者番号 95 番	<p>位置づけについては市の考え方によるが、他の機能とミックスさせることで、これまでよりも進化した図書館とすることを考えている。特に、近隣住民にとっての、よりソフトな役割としての身近な分館となれば良いと思う。</p>
久委員長	<p>他に質問が無ければ、これで参加者番号95番のプレゼンテーションを終了する。</p> <p>引き続き、事務局で進行をお願い申し上げます。</p>
的場職員	<p>5 休憩</p> <p>ここから、1時間の休憩とさせていただきます。</p>

議 事 の 経 過

発言者	発言内容
的場職員	<p>6 3者目 23番プレゼンテーション</p> <p>それでは、再開する。 3者目、番号23番の提案準備をお願い申し上げます。 準備が整い次第、開始していただきたい。</p>
参加者番号 23番 的場職員	<p>【プレゼンテーション】</p> <p>続いて質疑に移らせていただく。 質疑の進行については、委員長をお願い申し上げます。</p>
久委員長	<p>説明いただいた提案に対してご質問等があれば、お願い申し上げます。</p>
建山副委員長	<p>南側にフライタワーを持ってくることで大きな壁面ができるが、計画意図や対応策などの考え方について教えていただきたい。 また、4階ホワイエからの入場管理方法についてもお聞かせいただきたい。 図書館を利用される方ごとの多様な使い方への対応について、どのようなものを考えているのか教えていただきたい。</p>
参加者番号 23番	<p>大ホールはマッシブな塊として、あまり壁面を細分化したくない意図があった。壁面への対応策としては、下からの壁面緑化、大きいロゴ（建物名）設置など、キャンバスとしての考え方があり、南側の大きな樹木は残す提案としている。 ホワイエのもぎりラインは、ロビー側にある程度のバッファーを確保しつつ、自由に設定できる計画としている。 図書館は座席数を多く確保し、読書や勉強など多様な使い方に対応させている。</p>
本杉委員	<p>工事中のメインゲートを東側道路の交差点近くとしているが、交通面で問題ないかという点が懸念されるため、ご説明いただきたい。 東側からのアクセスについて、レベル差1.5m程度ある点や、南側関係者出入口のレベル差の対応について、考えを教えていただきたい。</p>
参加者番号 23番	<p>工事用ゲートは交差点から30m離し、かつ敷地内の引いた位置にゲートを配置しているので問題ないと考えている。 東側からは、レベルに応じた階段、スロープで駐輪場にもつながっているが、館内の階段、近くのエレベーターも利用できると考えている。南側</p>

議 事 の 経 過

発言者	発言内容
落合委員	<p>出入口のレベル差は、対応する方向で検討したい。</p> <p>上階のホールは 1,200 人が利用するが、縦の道のエスカレーターで問題なく対応できるのかということが、懸念事項として挙げられる。</p> <p>また、1階の BDS ゲートが退出時に問題ないかについてもご説明いただきたい。</p>
参加者番号 23 番	<p>上階のホワイエは面積約 500~600 m²あり、最大で 500 人程度は滞留可能である。エスカレーターはフル稼働で 1200 人を約 8 分で移動できる計算となっているため、問題ないと思う。</p> <p>BDS は数量的に、また、目の前のコンシェルジュ誘導も前提に考えると問題はないと思うが、確かに 1 階になくても良いかもしれないので、今後協議しながら検討することは可能である。</p>
井元委員	<p>縦の道は大きな吹き抜けとなっているが、落下等の安全対策はどのように考えているのか、ご説明いただきたい。</p> <p>また、屋外のイベントステージについて、通常時はどのような状態か教えていただきたい。</p>
参加者番号 23 番	<p>縦の道の安全対策について、手すり高さなどの法令基準を満たすことはもちろんのこと、法令基準+αの対応を検討していきたいと考えている。</p> <p>広場は、基本的に芝生の状態で、タフな仕様の芝生として劣化対策を図りたい。天然芝のエリアは、養生期間をとるなど協議しながら対応したいと考えている。</p>
秋元委員	<p>前出の質問となるが、フライタワーの工夫について、他にお考えがあれば教えていただきたいと思う。</p> <p>また、ワークショップの内容について、考え方を教えていただきたい。</p> <p>さらに、将来的なランドスケープのあり方や方向性について、どのように考えるのかお聞かせいただきたい。</p>
参加者番号 23 番	<p>フライタワーを南側に配置することで、搬出入ヤードや駐車場などの機能性を確保できるメリットもあると考えている。</p> <p>ワークショップは、使い方など運営に関する内容について、色々な団体と実施することが重要だと考えている。</p> <p>ランドスケープについては、全体が公共空間として大きな家になるイ</p>

議 事 の 経 過

発言者	発言内容
久委員長	<p>メージを持っている。緑をどのように育てていけるのか、緑道を発展させるのかという点や、里山と都市とのネットワークという役割もあると考えている。</p> <p>南側の道路や西側の水路など、建物の足下の景観についてどのように考えるのか教えていただきたいと思う。</p>
参加者番号 23番	<p>南側は先ほどの説明のように既存樹を残したいと考えている。西側の水路は、コストにもよるが工夫を検討したい。なお、西側エリアは、休日等のシェアード空間としての試行的な利用を提案している。</p>
久委員長	<p>他に質問が無ければ、これで参加者番号23番のプレゼンテーションを終了する。</p> <p>引き続き、事務局で進行をお願い申し上げます。</p>
的場職員	<p>7 プレゼンテーション終了</p> <p>プレゼンテーションは以上となるため、選定委員にはご退出いただく。最後に、今後の流れ等について、想定ではあるが事務局からご説明申し上げます。</p> <p style="text-align: center;">【選定委員退出】</p>
的場職員	<p>本日の公開プレゼンの内容や各者の提案資料を基に、この後、別室において選定委員に評価・審議を行っていただき、委員会としての業者を選定する予定としている。</p> <p>選定結果は、週明けのできるだけ早い段階で、ホームページで第一報を公開する予定としている。</p> <p>その上で、3月に市議会へ契約議案を上程し、議決いただければ、ただちに契約を締結し、令和2年度には設計、令和3年度から建設工事を実施し、令和5年の秋ごろには完成というスケジュールで進めたいと考えている。</p> <p>以上で、市民会館跡地エリア整備事業者候補者選定委員会公開プレゼンテーションを終了する。</p>

会議の名称	第5回 茨木市市民会館跡地エリア整備事業者候補者選定委員会
開催日時	令和2年1月18日(土) (午前・ 午後) 2時50分 開会 (午前・ 午後) 4時40分 閉会
開催場所	ローズ WAM 研修室 501・502
出席者	[委員] 久隆浩、建山和由、本杉省三、井元真澄、落合佳人、河井豊、秋元隆二 【7人】
欠席者	なし 【0人】
事務局職員	向田市民会館跡地活用推進課長、 末松市民会館跡地活用推進課課長代理兼活用整備係長、 山根市民会館跡地活用推進課副主幹、 澤田市民会館跡地活用推進課主査、 的場市民会館跡地活用推進課職員
開催形態	非公開
議題 (案件)	1 開会 2 各委員の評価に関する意見について 3 選定者の決定について 4 審査講評について 5 閉会
配布資料	

会 議 録

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
向田課長	<p>1 開会</p> <p>ただ今より、茨木市市民会館跡地エリア整備事業者候補者選定委員会を開催させていただく。</p> <p>先ほどのプレゼンの結果を踏まえ、各委員からは評価を入れていただいている。評価はあくまで個人で行うものであるため、意見を一致させる必要はないが、各委員にも専門、専門外があると思うので、協議の後に必要であれば評価の変更等を行っていただければと思う。</p>
久委員長	<p>2 各委員の評価に関する意見について</p> <p>全体を通して、各委員がどのようなご意見やご感想をお持ちか、意見交換をさせていただきたい。時間も限られているため、講評を想定した形で、現段階でのご意見をいただければと思う。</p> <p>それでは、順にご意見をいただきたいと思います。私は委員長であるので最後にさせていただき、建山副委員長から順番にご意見をお願いしたい。</p>
建山副委員長	<p>提案 46 番について、部屋の大きさが要求より小さい等、全体的に要求水準書の項目を満たしていない箇所が見受けられたので、一部評価を下げている。</p> <p>提案内容は、「茨木市のシンボルとしての建物」として、受け入れられるかを考えると、デザインや構造、施設設計を含めて斬新な提案であると感じている。デザインの好き嫌いはあると思うが、個人的には面白いと思っており、特に 2 階、3 階にあがるデッキの構造が良い。茨木市の将来や、新しい茨木市をイメージさせてくれる点に対応する項目は高得点にしている。</p> <p>95 番の提案については、高さを低くして全体の圧迫感を小さくしているところは評価できると思った。ただし、「茨木市のシンボルとしての建物」としてはインパクトに欠けると感じる。</p> <p>施工関係については、非常に具体的な提案も記載されており、説得力のある内容だと思う反面、書き込み量が多すぎて、資料がわかりづらいと感じる部分もあった。</p> <p>全体的に一定の提案はされているが、惹かれるものが少ない印象を受けた。</p> <p>23 番の提案は、全体として非常にバランスの取れた良い提案だと感じた。内容についても妥当なものが多く、緑で公園に溶け込む、優しさや柔らかさを感じさせてくれる施設だと思ったが、「茨木市のシンボル」とし</p>

議 事 の 経 過

発言者	発言内容
井元委員	<p>では、46 番の提案と比べると、若干、インパクトが弱いところがあると思う。</p> <p>ただし、この辺りは、茨木市民の肌感覚として、どちらが好まれるのかということで判断も変わる。昨今の SDGs についての取り組みとして、市全体で進めていこうという流れがあれば、ある意味それに沿った提案だと思った。</p> <p>本日も質問させていただいたが、南側のフライタワーについては、もう一工夫あっても良かったのではないかと思った。大きな壁が立ち上がることでマイナス面が出てくると思うが、そのマイナスをプラスに替えるような、大きな壁面をうまく使う提案が含まれていれば、面白かったのではという印象である。</p> <p>全体では提案者 23 番が一番良かったと評価しているが、子育て支援機能に絞って述べさせていただく。</p> <p>子育て支援という点から、それぞれの提案内容を見ていくと、23 番は 1 階と 2 階で機能をきちんと分け、似通った機能をそれぞれの階に配置していることから、非常に使いやすいただろうと感じた。</p> <p>屋外と屋内の広場、屋内の遊び場の関係についても、23 番の提案者は、デッキではあるが、屋内遊び場と一時保育室それぞれに、専用の屋外スペースを設けて使えるようにしており、このような使い方は良いと思った。北側の山になった遊び場も、子どもにとって楽しそうである。</p> <p>他の 2 者の提案について、まず 46 番は南面に屋外遊び場を取ってはいるが、みんなが使える屋外広場としており、一時保育室や屋内広場専用の屋外広場ではない。95 番では、南側に子どもの遊ぶ施設として、ひだまり広場があるが、有料ゾーン（屋内遊び場）の為だけの広場になっており、勿体ないと感じた。</p> <p>いずれにせよ、南側に広場を残したとしても、中途半端な提案になってしまうため、いっそ南側には子供の遊び場が無くて良いかもしれない。</p> <p>最終的に 23 番の提案が遊び場関係という点で優れていると思った。なお、23 番のフライタワーについては、緑（植栽）を残すという点が、辛うじて良いと思った。</p> <p>46 番については、先ほど建山副委員長がおっしゃったように、好き嫌いが分かれるデザインだと思ったが、今日のプレゼンを聞いて、少し加点している。95 番については、プレゼンを経て少し下げており、最終的に 23 番の評価が一番高くなっている。</p>
本杉委員	<p>23 番の提案が一番良いと思った。図面を見てみると、他者の提案に比</p>

議 事 の 経 過

発言者	発言内容
落合委員	<p>べて白い部分が多いが、これは共用スペースがどのフロアにもゆったりとれており、部屋の配置や組み合わせにより、全体的な計画がうまくできている表れだと感じた。</p> <p>それぞれの部屋の中身についても要求水準に沿っており、要求水準書に書かれていない項目についても丁寧な設計がされている。例えば、トイレについては、ホールの入口・出口との位置関係、どう並ぶのかなど、動線が考えられている。また、立体的に機能が繋がっている複合施設では、各階からの避難・防災経路も非常に重要になるが、屋内、屋外階段等、よく検討されている。</p> <p>非常に難しい点としては、何度もご意見が出ている南面のフライタワー壁面で、これは何とかしていただきたいと思う。もう一つは水路で、これからの将来に向かって大事な要素の一つではないかと思った。</p> <p>一方、46番はプレゼンで質問させていただいたが、1階の西側から入ったところで、多目的室やホワイエに向かう動線がクロスすることから、ここから入る沢山の人に対して、非常に窮屈な扱いになっていると思う。また、多層階に機能が分散的に計画されており、プラスに捉えることもできるが、あまりにも小さく分散しすぎている感じもする。これは、管理運営面や、利用者のことを考えると、メリットをデメリットが上回ってしまうのではないか。</p> <p>また、要求水準を満たしていない室が複数あること、エスカレーターが上階まであがらないことも、マイナス点としてとらえた。</p> <p>95番は、31mに高さを抑えることが大目標になっているように感じた。フライタワーを低くすることで、ホール機能への支障、将来的な拡張性における懸念など、長期的な視点で考えるとマイナス面が見られる。</p> <p>また、1階に子育て関連諸室を設けている点は良いと思うが、部屋のレイアウトから病院の待合室のような雰囲気があり、あまり豊かな印象を受けない。また、南面にひだまり広場を設置し屋内遊び場と接続しているが、出口付近に中2階の駐輪場が乗っていることから、あまり天井も高くなく、うまく施設が繋がっていない感じがする。</p> <p>高さ31m以下とする制約から、全体的な計画が強く縛られているように感じる。4階では、閲覧室のデスク後ろの狭い通路を、多目的室の利用者など多くの人を通る動線になっており、基本構想などで期待される豊かで、のびのびとした未来志向の活動する場としては、少し窮屈な印象を受けた。</p> <p>茨木のシンボルということ考えたときに、どれくらい振りきってしまった方が良いのかという思いもあり、厳しめの評価としている。</p>

議 事 の 経 過

発言者	発言内容
河井委員	<p>資料をもとに事前に評価した時点では、3者横並びであったが、今日プレゼンを聞いた上で再度評価を付けなおし、上から順番に、23番、46番、95番という点数となった。</p> <p>まず46番の提案は、今日のプレゼンの話を聞いて、多様で面白い人がたくさん関わるという期待が多くあり、評価を上げた。独創的なデザインのホールについても、好き嫌いが分かれるところではあるが、音響の自信もあるということで、この評価にしている。</p> <p>95番は、多目的室とホールを同じ階層に配置しているが、これは運用上難しいところが出てくるのではと思い、評価を下げている。</p> <p>全体的に、多目的室や図書室等が狭くなっている印象で、また、授乳室が奥の方に配置されているのは、レイアウトとして、現実的ではないと思った。</p> <p>1階についても、イメージでは開放的なつくりということだが、実際は健診待合やホールのお客さんなどとの動線が近いところで混ざってしまうのではという懸念から、評価を低くしている。</p> <p>23番は、フライタワーのデザインが気になったが、ホールの在り方としては、楽屋や多目的室、リハーサル室を同じ階にもってくることで、目的によって多様な使い方ができる提案がされているところは良いと思った。ただ、同一フロアとはいえ、楽屋と舞台の距離が少し遠い点は、気になる点である。</p> <p>デザインの的には、ガラス張りというのはよくあるデザインであるが、緑で覆って大きな森のようしていくところは、他の建物とは差別化が出来ているのではないかと思う。</p> <p>3者のいずれが選ばれたとしても今後実際の設計と運用管理の調整により、ギャップを減らしていくことが重要だと思う。</p> <p>まず46番について、外観が非常に特徴的で、また、ホールは、舞台、迫等の構造や客席が3階層になっている点、メインホワイエには専用階段もあることなどが、大変良いと思った。ただし、北側府道からのスロープや大屋根については、実際、どれだけの人に使われるのかということとは、非常に気になる点である。</p> <p>95番はコンパクトな考え方は良いとは思いますが、31mに高さを抑えているため、圧迫感があると思う。特にホールの客席については、客席を中ホール的に使えるコンセプトで検討してきたのにも関わらず、この構成では単なる2層構成という印象である。また、個人的に、音響についても気になる点である。</p> <p>23番の提案では、南側のフライタワーの存在、また、大ホールのホワ</p>

議 事 の 経 過

発言者	発言内容
秋元委員	<p>イエへのアクセスに、専用の大階段がないことが、非常に気になった。</p> <p>なお、プレゼンを聞いてみて、46番は少し評価を上げている。大きなスロープや大屋根について市民利用の説明もあり、また、要求水準書が満たされていないところもあるが、これからの調整で対応できる部分もあるのではないかと思った。</p> <p>95番はプレゼンによる評価の変化は特になかった。</p> <p>23番については、南側の通りに緑を残しているとのことだが、すぐ裏側、フライタワーの下に機械室等の設備を入れている部分もあり、これも緑の向こう側から見える可能性もあると感じた。</p> <p>最後まで気になったのは、1,200人のお客さんの入退場を捌けるのかという問題であるが、今日のプレゼンでの回答では、エスカレーターの処理能力で捌けるとのことであり、一定信用しようと思う。</p> <p>ただし、管理運営の面から考えると、非常階段や非常用エレベーターについて、管理室から集中的・電子的に管理できるようにしていただかないと、難しい面もあると思った。</p> <p>質問でもさせていただいたが、この跡地エリアは「育てる広場」がキーコンセプトということで、それを導く「開放感・ゆとり・余裕」の観点で見えてきた。</p> <p>そんな中、23番について、ゾーニング的にも施設の機能配置にも優れていると思った。</p> <p>審査項目3.(1)「各機能の相乗効果」では、ゆとりによって相乗効果もあり、(6)「共用その他・外構施設」にも開放感があると思う。</p> <p>(7)「広場施設」についても、ゆとりがあり、2.(2)「ゾーニング計画」や(5)「まちづくりへの貢献」が、「育てる広場」に繋がっていることを踏まえ、差別化されていると考えている。</p> <p>46番はプレゼンで評価が上がったが、デッキが30～50年後の価値を踏まえてどうなっているのかという点や、要求水準との相違が多かった点では、評価を下げている。</p> <p>95番は、全体的にまとまっており、いわゆる「公共施設」というイメージを受けた。北側の大屋根は面白い発想であったが、大屋根と施設本体1階のつながりの視点は捨てるのが難しく、それを補うほどのものではないと捉えた。</p> <p>23番について気になった点は、やはり南側のフライタワーである。建山副委員長が質問された際には、もっとアイデアが欲しかったという思いもあるが、回答の中で「育てていく」との言葉があったことから、少し評価が高くなっている。</p>

議 事 の 経 過

発言者	発言内容
久委員長	<p>選定の際の視点として、時間が経過しても、いつでも立ち寄れるような、景色に馴染んでくるような施設が良いと考えた結果、23番の評価を高くしている。</p> <p>まず、全体的な話をすると、ホールの場合、フライタワーの処理をどうするか、景観的な問題も含め、検討が難しい。今回の提案でも46番と95番は、施設中央にフライタワーを配置し、23番は南側に寄せるという2つのタイプに分かれている。</p> <p>景観的には、フライタワーを中央に持ってくるという46番や95番が良いが、そうすることで、バックヤードや搬入口等の配置が非常に窮屈になってしまう。限られた敷地条件で、このフライタワー配置については、いずれの提案者も非常に苦労されている印象である。どのように評価するかは、フライタワーとその他諸室の配置を考えつつ、ホール部分をどう設計していくかというところで変わってくると思う。</p> <p>個別の話としては、46番については、提案書においてコンセプト部分がよく考えられており、様々なユニークな提案もよくできている。それを強調してプレゼンしていただいたので、聞いている方も非常に好印象であった。しかしその一方で、そのコンセプトを具体的な図面に十分に落とし込めておらず、要求水準を満たしていない点が他者と比較して多く見受けられ、残念ながらその点については評価を下げざるを得ない。</p> <p>95番は、他の2者の提案と違い、31mに高さを抑えており、機能的にもゾーニングをしっかりと分離した考え方である。</p> <p>一番ユニークな部分は、大屋根を北側に独立させた斬新な提案であると思うが、そこが有効にいきておらず、機能していないと判断したため、評価を下げている。書いてあることの一つ一つは理解できるが、それを通すコンセプトの柱が見えにくいため、体系立っていないような印象を受けてしまい、建山副委員長からもご指摘があったように、提案書が読みにくい印象となる。</p> <p>コンセプトとして落とし込められるものが体系立っていないため、全体的にちぐはぐな印象を受け、評価がそれほど伸びなかった。</p> <p>23番は、他の委員もおっしゃったとおり、提案書はバランス良く細かいところまで配慮がなされているという印象を持った。ただし、委員の皆様がおっしゃっているように、フライタワーを南側に配置することによって、南、西側の扱いが犠牲になっているので、この辺りをどう考えていくかが課題だと思う。</p> <p>なお、プレゼンの際に、水路の話を出したのは、水路をしっかりとデザインしていただくことによって、接道部分のデザインのレベルを上げてい</p>

議 事 の 経 過

発言者	発言内容
	<p>けるのではないかと思ったからである。南面も同じように、低層部分をうまく見せれば、高層部分のフライタワの壁面も、歩行者目線からは気にならなくなるかもしれない。ただし、先ほど、緑が残っているとの声があったが、一列の緑しか残っていないので、これで残していると言えるのかというのは疑問である。</p> <p>18mもセットバックしているので、もう少しこの空間を活用し、駐車場の処理の仕方や、にぎわい施設的なものを置くことが可能な余地もあるなど、工夫することで、フライタワの問題には検討の余地があるのではないかと判断した。</p> <p>3者とも非常に弱いと思った点は、市民活動センター部分であり、これは社会的にも認知されていないことにより、イメージが出来ず、提案に落とし込めていないのかと感じた。私も茨木市の市民活動センターのNPOの理事を務めているが、現状はNPOの力量はまだまだで、上手くいってはいないという状況ではある。この近辺の箕面の市民活動センターでは、設計段階からいろいろな工夫がなされており、市民活動センター部分をいかに充実できるかが、設計段階の勝負になっていくのではないかと考えている。</p> <p>また、図書館の質問を95番の提案時にさせていただいたが、ある意味、中央図書館を想定したような提案が多く、もっと分館ならではの工夫があるのではないかと思った。分館として分権させ、団体と一緒に考えていくような運用が考えられれば、満遍なく蔵書を揃える必要もなく、非常に特化した図書館的機能が考えられるのではないかと。</p> <p>設計者と運営者が一緒に考え、特徴のある図書館にしていけば良くなると思うが、提案者からは明確な答えが返ってこなかった印象である。</p> <p>また、「まちづくりの貢献と地域貢献」については、すべての提案者が弱かった部分であり、もっと貢献できる場所があると思う。</p> <p>茨木市は、市民活動が元気な地域である。市民力をもっと活用した地域貢献を市側からも要求しても良いのではないかとと思うし、また、場合によっては共同で作り上げることが必要ではないかと思った。</p> <p>それでは、全ての委員からご意見をいただいたので、他の委員から何かもう少し聞きたい等のご意見、ご質問等があればご発言いただきたい。</p>
建山副委員長	<p>23番の提案で、大ホールからの誘導の話があったが、火災や地震が起こった際に、一気に1,200人が非常階段で避難できるかが気になった。</p>
向田課長	<p>必要な非常階段の数はそろっていると確認している。</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	発 言 内 容
山根副主幹	<p>提案書では、避難階段の数は多いと思う。</p> <p>提案書 33 ページの平面図でホール階を見ると、ホワイエの東面に避難階段が 3 つある。(エスカレーターのすぐ上、トイレの奥、テラスの部分に屋外用の避難階段)</p> <p>反対の西側にも 2 つ階段があるなど、階段の数が多く、また、非常用エレベーターも 2 台設置されているため、図面上で判断する限り、避難に関して大きな問題はないと思う。</p>
建山副委員長	<p>大ホールから一度後ろのホワイエに抜けなくてはいけないのか、それとも東西の扉から出られるのか。</p> <p>一度ホワイエに出なければならぬなら、一周周らないといけないので大変だが、「車椅子」と書いてある横の扉から出られるのであれば問題ないと思う。</p>
本杉委員	<p>提案書 32 ページでは通路が示されており、東西から出られるようになっていると思われる。</p>
久委員長	<p>テラスがある分、避難の面では有利になるのかと思う。</p>
本杉委員	<p>23 番の提案では、階段には附室がついており安全上有利だと思う。屋外に 2 つ階段もあり、今回の提案の中でも一番安全だと思った。</p> <p>また、舞台の中にエレベーターがあるのは 23 番だけで、すのこまで技術者が上がり、調整ができる。これは舞台の人にとって嬉しい配慮だと思う。</p>
落合委員	<p>技術者のことをよくわかっていると思う点で挙げられるのが、6 階にお手洗いが個室で用意されていることである。技術者が手近な所で用を足せるよう配慮しているのは、よくわかっていると思った。</p>
井元委員	<p>お手洗いの話が出たので、確認させていただきたいが、23 番の提案において、大ホール 2 階席のお手洗いが無いということは、問題ではないか。</p>
向田課長	<p>ホール 2 階席トイレについては、要求水準書を満たせていないという認識である。</p>
本杉委員	<p>個数など数の要求はあるのか。ただトイレがあれば良いという程度な</p>

議 事 の 経 過

発言者	発言内容
	のか。
向田課長	要求水準書上は、トイレを設置するようにとしか記載していないので、具体的な個数等は提案による。
建山副委員長	23番は盲導犬トイレについての記載があるが、これは今後必要になっていくのだろうと感じた。
本杉委員	<p>事業者が選定されてからにはなるが、要求水準書にないものでも、市の方でリクエストしても良いのではないか。</p> <p>今後、身障者等に対する色々な法律が整備されていく上で言われていることとして、例えば、車椅子席の人は、目の前の人立つと舞台が見えなくなってしまうので、一番盛り上がっているときに自分だけが阻害されているという状況をなくしてほしい、というリクエストが多い。</p> <p>要求水準書にはないので、今の段階ではかまわないが、今後具体化していく中で、各フロアの最前列に、車椅子用の場所があっても良いと考える。非常に難しいことだが、スロープをうまく使うなどすれば、実現も可能ではないかと思う。</p>
久委員長	それでは、ここまでの意見交換を踏まえ、評価を変える方がおられれば、お願い申し上げる。
末松課長代理	<p>3 選定者の決定について</p> <p>評価結果を募集要項で定めた配点に当てはめて集計したところ、参加者番号 46 番は総合評価点 737.02 点、参加者番号 95 番は 688.86 点、参加者番号 23 番は 820.00 点という結果となった。</p> <p>よって、参加者番号 23 番が最も高い評価を得た提案者となる。</p>
久委員長	事務局の報告に基づいて、提案者 23 番が選定者、提案者 46 番を次点者とする。何かご異議等はあるか。
各委員	【異議なし】
久委員長	それでは、参加者番号 23 番を選定者として決定させていただきたいと思う。
向田課長	ここで、選定者が決まったため、提案者名についてご報告させていただ

議 事 の 経 過

発言者	発言内容
久委員長	<p>く。</p> <p>23番は竹中工務店・伊東豊雄建築設計事務所共同企業体、46番は鹿島建設・NASCA共同企業体、95番は大林組・佐藤総合計画・E-DESIGN共同企業体である。</p> <p>続いて、講評の調整に入りたいと思う。</p>
向田課長	<p>4 審査講評について</p> <p>本日の協議内容等を踏まえ、最終的に委員会からの講評をいただきたいと思う。</p> <p>本日、委員各位から出された意見についてご紹介するので、この中から、講評としてどれを中心にしていくか等をご議論いただければと思う。いただいたご意見の概要をご紹介させていただく。</p> <p style="text-align: center;">【評価に関する意見概要の説明】</p>
久委員長	<p>最終的には、私と事務局で講評の文章をまとめていければと思うが、他に追加や修正等のご意見等はあるか。</p>
井元委員	<p>23番の「縦の道」における安全対策について、充分にお願いしたく思う。プレゼンの質疑で丁寧に答えてくださったので、一定対策をされると思うが、そこは講評の中でも追記をお願いしたい。</p>
河井委員	<p>久委員長から市民活動センターについての言及があったが、市民の視点で見ると、23番だけが市民活動センターと市民利用諸室、いわゆる会議室系をすべて同じフロアに入れている。どう作用するかは不確定であるが、少なくとも会議室系がバラバラになっているよりは、まとまっている方が何かしらの活動がしやすいと感じた。</p>
久委員長	<p>市民協働の部署との話し合いになると思うが、どういう役割分担で、空間としてのすみ分けをするかについては、いくつかタイプがあると思う。</p> <p>堺市では、市民活動コーナーとして、相談業務や支援業務だけを運営し、貸室管理は総合福祉会館で行うとし、市民活動センターのスタッフは貸し館業務をしないという分担を行っている。</p> <p>寝屋川市では、市民会館4階部分に市民活動センターがあり、4階の貸室は市民活動センターが管理を行い、その他の貸室は市民会館側が管理している。</p>

議 事 の 経 過

発言者	発言内容
	このように、すみ分けが色々あるため、今後、貸室業務を誰がどのようにするかについて、話し合いが必要だと思う。
建山副委員長	95 番は他の 2 者の提案と比べて、市内企業との連携に関する配慮が大きく、評価すべき点だと思う。
秋元委員	23 番について、一言で「バランスが良い」と表現すると、良いのか悪いのかわかりづらいため、しっかりとバランスが良い部分の明示をした方が良いと思う。例えば、「育てる広場」や基本構想に沿っている等の表現が必要だと思った。
井元委員	23 番の提案コンセプトである「日々何かが起こり、誰かと出会う」というのは、評価してほしいと思う。
本杉委員	今の井元委員の意見に少し加えると、23 番の提案は、コンセプトに基づいて、諸室に対する計画がしっかりとされているため、共用空間が豊かに取れているのだと思う。
井元委員	南面のフライタワーの使い方について、緑化に限らず、色々な使い方を考えていただく方が良いと思う。大阪の丸ビルでは、植物の蔭が伸びず緑化できないということもあるから、多様な使い方を考えて欲しい。
久委員長	あまり限定した書き方は、変な方向に誘導してしまう可能性があるもので、書きぶりには注意すべきであると思う。
建山副委員長	講評に追記してほしいわけではないが、バリアフリーなど、当事者にしかわからないこともあると思うので、専門のアドバイザーを入れられると良いと思う。
秋元委員	コスト面について、イニシャルコストは出ているが、ランニングコストについて読み取れない部分もあり、特に 23 番の提案ではエスカレーター稼働電気代や空調のコスト等は配慮すべき点だと思う。
久委員長	23 番の提案書では、1 階ロビーにコンシェルジュを置くところがあるが、誰がどのような形でこの費用を払うかなど、場合によっては職員を 1、2 名増員しなくてはならなくなるので、運用についての打合せもしてほしいと思う。

議 事 の 経 過

発言者	発言内容
	<p>それでは、ここまで、議論した意見を、私と事務局で文章化し講評を作成したいと思うので、よろしくお願い申し上げます。全体を通して、ご意見やご感想等があればご発言いただきたい。</p>
建山副委員長	<p>立命館大学のいばらきキャンパスは、オープン空間を広くとった快適な空間ではあるが、空調管理に難しいところもあり、実際に運営を始めてから、夏が暑く、冬は寒い等の苦情があり、空調の追加等をした。</p> <p>将来も見越して、しっかり設計してほしいと思う。</p>
井元委員	<p>講評はどのような流れで発表するのか。</p>
向田課長	<p>月曜日には選定結果を発表したいと思っている。ホームページで公表し次第ご連絡差し上げる。</p> <p>講評は、29日までにはまとめたいと考えている。</p>
各委員	<p>【その他、意見等なし】</p>
久委員長	<p>5 閉会</p> <p>それではこれで選定員会を終わりたいと思う。長期間・長時間にわたって、貴重なご議論をいただきながら、ここまでやってこられたことに感謝申し上げます。一旦の区切りではあるが、これから設計者と共に設計・運用していく中で、より市民に親しまれる良い施設になればと思う。今後も委員の皆様に対し、事務局から質問をさせていただくことがあろうかと思うが、より良い施設となるようご協力をいただければと思う。</p>
	<p>以上</p>